

第15回原子力委員会定例会議議事録（案）

1. 日 時 1998年3月10日（火）10:00～10:50
2. 場 所 委員会会議室
3. 出席者 藤岡委員長代理、依田委員、遠藤委員、木元委員
資源エネルギー庁原子力発電安全企画審査課
小崎統括安全審査官
（事務局等）伊藤原子力調査室長
池本専門委員
瀬山国際協力・保障措置課長
森山廃棄物政策課企画官
国際協力・保障措置課 田口
廃棄物政策課 坂本
資源エネルギー庁原子力発電安全企画審査課 結城、石渡
原子力調査室 松澤、杉本、新井
4. 議 題
 - （1）日本原子力発電株式会社敦賀発電所原子炉設置変更（1号及び2号原子炉施設の
変更）について（諮問）
 - （2）第9回アジア地域原子力協力国際会議の結果について
 - （3）原子力委員会専門委員の変更について
 - （4）その他
5. 配布資料

資料1-1 日本原子力発電株式会社敦賀発電所の原子炉の設置変更（1号及び2号原
子炉施設の変更）について（諮問）

資料1-2 日本原子力発電株式会社敦賀発電所原子炉設置変更許可申請（1号及び2
号原子炉施設の変更）の概要

資料2 第9回アジア地域原子力協力国際会議の結果について

資料3 原子力委員会専門委員の変更について（案）

資料4 第14回原子力委員会臨時会議議事録（案）
6. 審議事項
 - （1）日本原子力発電株式会社敦賀発電所原子炉設置変更（1号及び2号原子炉施設
の変更）について（諮問）
平成10年2月23日付け平成09・08・01資第10号をもって通商産業大臣か
ら諮問を受けた様記の件について、通商産業省より資料1-1及び資料1-2に基づ
き説明がなされた。これに対し、
 - ・申請内容はどのように住民に公開されているか
（通産省より）事業者から申請があった際に申請内容は発表されており、また、
自治体には事業者より申請の前から説明している。住民からの特段の反応は聞
いていない
 - ・今後のリサイクル社会に向けて、焼固体廃棄物のリサイクルについても考えて
いくことは大切
 等の質疑応答及び委員からの意見があり、引き続き審議することとした。
注）本件は、使用済燃料の貯蔵容量の増加を図るため1号及び2号炉使用済燃
料貯蔵設備の貯蔵能力を増強するとともに、焼固体廃棄物等を減容処理す
るため、1号及び2号炉共用の焼固体減容処理設備を設置するものである。

(2) 第9回アジア地域原子力協力国際会議の結果について

1998年3月3日(火)に東京で開催された係記の件について、事務局より資料2に基づき、本会議の結果概要、各国代表の講演の概要等について、また、3月4日(水)、5日(木)に行われた作業グループ会合における議論等について報告があった。

これに対し、

- ・我が国としてアジアに同かれた原子力開発利用を進めることは大切であるが、本件会議への参加の要望が増えた場合などはどうするか
(事務局より) 必ずしも参加国の基準があるわけではないが、国際協力では相互に貢献し合うことが大切。したがって、原子力開発についてある程度の実績が必要であるし、予算的制約も考慮する必要がある。
- ・経済発展及び人口増加に伴う食料問題は必ず生じるものであり、食品照射などの放射線・RIの最良利用の分野においても今後協力が進むことを期待する
- ・東南アジアに対しては、原子力産業会議をはじめいろいろなミッションがあるが、原子力委員会の本件会議の位置づけを含め総合的アプローチを検討していくべき。今回のテーマでもあった「今後の新しい展開」について十分考えてほしい

等の質疑応答及び委員からの意見があった。

(3) 議事録の確認

事務局作成の資料4第14回原子力委員会臨時会議議事録(案)が了承された。

(4) 原子力委員会専門委員の変更について

係記の件については、人事案件に係るものであることから非公開で審議することとした上で、事務局より資料3に基づき説明があり、了承された。